記者発表資料

平成２８年　２月　３日
高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

高校生が製作した「橋梁模型」の最優秀賞を決定します！

～平成28年2月12日（金）　せんだいメディアテークにて～

第１４回高校生「橋梁模型」作品発表会審査会を開催します。

今回は、**東北６県の高等学校１８校から３６作品**の提出がありました。この中から**一次審査を通過した１０作品**について、最終の審査会を開催し、**最優秀賞等各賞の発表と表彰式を行います**。

●日　時：平成２８年２月１２日（金）１１：００～１６：３０

●会　場：せんだいメディアテーク　１階 オープンスクエア
（宮城県仙台市青葉区春日町２－１）

【高校生「橋梁模型」作品発表会審査会】

〇公　開　審　査　　１１：００～１４：３０
※ **来場者の方に投票していただきます（入場無料・参加自由）**。

〇開　　会　　式　　１３：００～

〇製作者プレゼンテーション　１３：２０～

〇各賞発表・表彰　　１５：４５～

【橋梁技術講演会】

〇特　別　講　演：　　１４：３０～１５：３０

・講演①：『橋の維持管理』

・講演②：『鋼橋へのアプローチ　－未来の若手技術者に向けて－』

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】
高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会事務局（東北地方整備局 東北技術事務所内）
東北技術事務所 副所長　松前（まつまえ）　好則（よしのり）
東北技術事務所 施工調査･技術活用課長　布宮（ぬのみや）　明道（あけみち）
住所：多賀城市桜木３丁目６－１　電話０２２－３６５－８０４７
ホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/h27/index.html

第１４回 高校生「橋梁模型」作品発表会審査会
及び橋梁技術講演会について

○ 目　　的

土木技術を学び将来の社会資本づくりを担う高校生に、模型づくりを通じて橋の種類や構造に関する知識を深めてもらうとともに、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的に実施するものです。

平成１４年から実施しており、今回で１４回目となります。

○ 概　　要

【申込状況】

東北６県の土木系の学科がある高等学校１８校から３６作品を提出いただきました。

作品の申込期間：平成２７年７月１日（水）～平成２７年９月３０日（水）

作品の提出期限：平成２８年１月８日（金）

【一次審査】

平成２８年１月２０日（水）に、東北地方整備局東北技術事務所内で開催。

７名の審査員により「構造物としての安定した外観」「出来映え」「アイディア・デザイン」を審査し、獲得点が上位の１０作品（別紙チラシの裏面参照）を選定しました。

【二次審査】

平成２８年２月１２日（金）に、せんだいメディアテークで開催予定。

一次審査で選考された１０作品の一般公開と来場者の方に投票をしていただきます。また、この１０作品の製作者（高校生）によるプレゼンテーションを行います。一般の方の投票により得られた獲得点とプレゼンテーションの審査員による審査で得られた獲得点は、一次審査の獲得点に加算されます。

【各賞決定】

一次審査と二次審査での獲得点に基づき、審査員による最終協議で各賞を決定します。

【各賞発表・表彰】

最 優 秀 賞：１作品
優　　秀　　賞：２作品
審査員特別賞：１～２作品
努　　力　　賞：５～６作品
　　｝一次審査を通過した１０作品

プレゼンテーション賞：１校

○ 橋梁技術講演会とパネル展示

二次審査と同時開催で、橋梁技術講演会とパネル展示を行います。

【橋梁技術講演会】　１４：３０～１５：３０

講演①：『橋の維持管理』
　　講師：（一財）橋梁調査会常務理事兼東北支部長　加島　聰 氏

講演②：『鋼橋へのアプローチ －未来の若手技術者に向けて－』
　　講師：（一社）日本橋梁建設協会 技術委員会委員　入部 孝夫 氏

【パネル展示】

復興道路を支える１０の建設技術、インフラのストック効果のパネル展示　等

○ 第１４回（平成２７年度）作品提出学校一覧

所在県	学　校　名	作品数
青森県	八戸工業高等学校	１作品
	弘前工業高等学校	２作品
６作品	青森工業高等学校	１作品
	五所川原農林高等学校	２作品
岩手県	一関工業高等学校	１作品
１作品		
宮城県	仙台工業高等学校	２作品
	古川工業高等学校	１作品
	石巻工業高等学校	２作品
	黒川高等学校	１作品
８作品	迫桜高等学校	２作品

所在県	学　校　名	作品数
秋田県	秋田工業高等学校	４作品
	能代工業高等学校	１作品
７作品	大館工業高等学校	２作品
山形県	山形電波工業高等学校	４作品
	米沢工業高等学校	２作品
７作品	山形工業高等学校	１作品
福島県	相馬農業高等学校	４作品
７作品	二本松工業高等学校	３作品
計	１８校	３６作品

※順番は、所在県行政順、申込み順

○ 審査員（敬称略）

審査員名	所　属　・　役　職
樋渡　滋（審査員長）	東北学院大学工学部　名誉教授
森島　修（副審査員長）	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部長
大野　豊繁	(一社)日本橋梁建設協会　技術・調査部長
髙橋　重道	(一社)東北地域づくり協会　仙台支所長
堂前　満	(一財)橋梁調査会　東北支部　調査役
三田　昌彦	(一社)建設コンサルタンツ協会　東北支部　技術部会長
加藤　信行	東北地方整備局　東北技術事務所長

○ 主　　催

高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

（委員長：一般社団法人日本橋梁建設協会 東北事務所長　前田　豊）

【構成団体名】

一般社団法人日本橋梁建設協会 東北事業所

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部

一般社団法人東北地域づくり協会

一般財団法人橋梁調査会 東北支部

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 東北支部

東北地方整備局 東北技術事務所

※過去の受賞作品はこちら

http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/h27/index.html

第14回（平成27年度）高校生「橋梁模型」作品発表会
審査会及び橋梁技術講演会

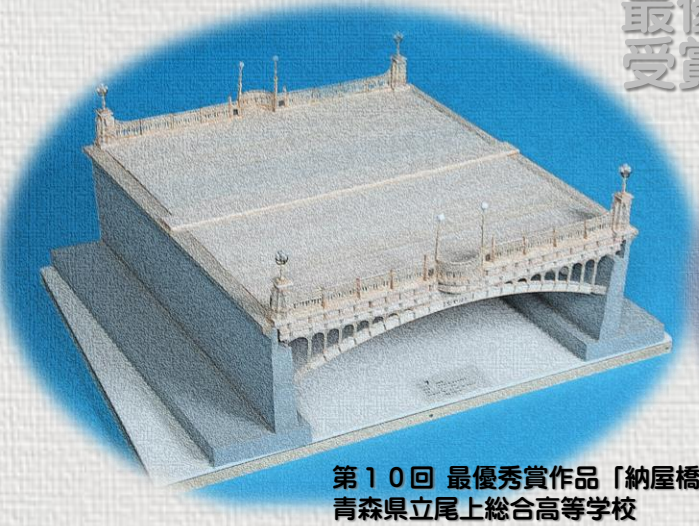


第１３回 最優秀賞作品「西田橋」
秋田県立大館工業高等学校



第１２回 最優秀賞作品「鞘橋」
秋田県立大館工業高等学校

過去の
最優秀賞
受賞作品



第１０回 最優秀賞作品「納屋橋」
青森県立尾上総合高等学校



第１１回 最優秀賞作品「タワーブリッジ」
青森県立尾上総合高等学校

入場無料

来場者による審査（どなたでも審査に参加できます）
橋梁に関する講演（どなたでも講演を聴講できます）

日時 2016年2月12日（金）
開場11:00～終了16:30

会場 せんだいメディアテーク
１Ｆ オープンスクエア
（宮城県仙台市青葉区春日町2-1）

プログラム（11:00開場）

11:00～14:30 来場者による公開審査
13:00～ 開会あいさつ、審査要領説明
13:15～ 製作者プレゼンテーション
14:30～ 橋梁に関する講演
15:45～ 各賞発表及び表彰式
16:15～16:30 講評、閉会

主催 高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

【構成団体】（一社）日本橋梁建設協会 東北事務所、（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部、（一社）東北地域づくり協会、
（一財）橋梁調査会 東北支部、（一社）建設コンサルタンツ協会 東北支部、国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

高校生「橋梁模型」作品発表会 とは

模型づくりを通じて橋の種類や構造に関する知識を深めてもらうとともに、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的として実施しており、今回で14回目を迎えました。

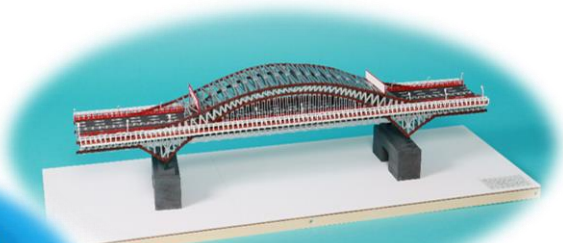
今回は、東北6県の18校から36作品の提出があり、事前に一次審査(1月20日)により選考された作品を、せんだいメディアテークにて公開し、一般来場者の審査と審査員のプレゼンテーション審査で、各賞を決定します。

・参加資格　東北6県の高校・高専で土木を学ぶ生徒(個人・グループを問わず)
・作品課題　橋梁の種類・形式は自由 ①国内外を問わず、実在する橋・過去に存在した橋の模型
②実際にはない形式・構造の橋、夢のある橋

最終審査対象 10作品紹介



作品名 大宮橋
学校名 青森県立八戸工業高等学校



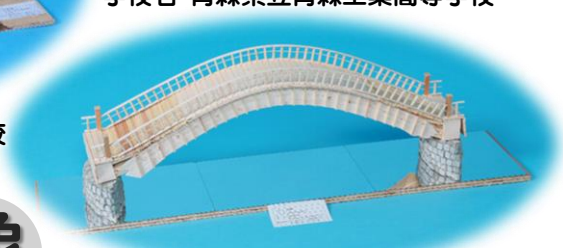
作品名 朝天門長江大橋
学校名 青森県立青森工業高等学校



作品名 楠浦眼鏡橋
学校名 仙台市立仙台工業高等学校



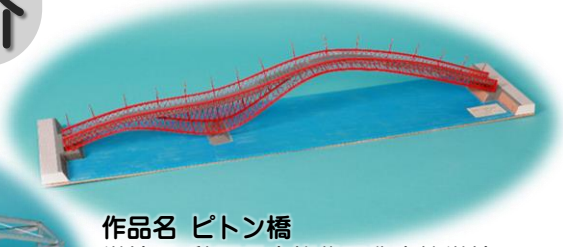
作品名 錦帯橋
学校名 宮城県石巻工業高等学校



作品名 錦帯橋
学校名 宮城県黒川高等学校



作品名 猿橋
学校名 宮城県迫桜高等学校



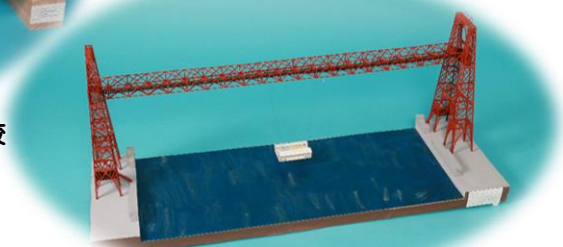
作品名 ピトン橋
学校名 秋田県立能代工業高等学校



作品名 南河内橋
学校名 秋田県立大館工業高等学校



作品名 日本橋
学校名 秋田県立大館工業高等学校



作品名 ビスカヤ橋
学校名 山形電波工業高等学校

会場のご案内 せんだいメディアテーク

(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

●地下鉄南北線　勾当台公園駅下車「公園2」出口から徒歩6分

●仙台市営バス　仙台駅前29番(荘内銀行前)乗り場から「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き(系統番号J410)で約10分、メディアテーク前下車

●タクシー　仙台駅西口タクシー乗り場から約7分



【お問合せ先】高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会事務局
宮城県多賀城市桜木三丁目6番1号 東北地方整備局東北技術事務所内
Tel.022-365-8047／fax.022-365-8152／E-mail:tougi@thr.mlit.go.jp